

GO!

<https://www.jfaiu.gr.jp>

EXPRESS

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：長谷川 樹 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163



「地域航空サービスアライアンス協議会」設立!

～地域航空の持続可能性を高める役割に期待!

10月25日（水）、天草エアライン（AMX）、オリエンタルエアブリッジ（ORC）、日本エアコミューター（JAC）、ANA、JALの5社は共同で「**地域航空サービスアライアンス協議会（EAS Alliance）**」を設立したと発表しました。この5社は、2019年10月に「地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合（EAS LLP）」を設立し、九州・離島を中心とする地域航空サービスの維持・発展に資する協業に取り組み、系列を超えたコードシェア、航空機予備部品の共用化などを実現してきました。今後はこれらを基盤に、新規会員やオブザーブの参加を可能とし、新たな協業検討の迅速かつ柔軟な実施や、同一機種運航によるメリットも活かし、2028年3月までを活動期間として、離島・生活路線の維持・発展と地域活性化に取り組むとされています。

航空連合はかねてより、国は事業者による地域航空の持続可能性を高める環境整備を支援すべきと主張しており、協議会の今後の取り組みについて、引き続き関心を高めて確認していきます。



航空連合2023-2024産業政策提言 抜粋

『LLPによる協業体制は2023年度に評価年度を迎えており、これまでの成果を明らかにしたうえで、今後の体制面における検討を深める必要があります。そのなかでは、LLPで培った系列を超えた協業メリットを持続化・最大化していくことに加えて、環境変化や様々な課題に柔軟に対応できる運用とすることや、既存の構成企業だけでなく、将来的に、より幅広い地域航空事業者が参加できるような体制としていくことが重要です。』